

# アジア情報室通報

Bulletin of the Asian Resources Room

第18巻第2号（2020年6月）

## 目次

- マレーシア語資料の出版状況について  
塩崎 悠輝（静岡県立大学国際関係学部国際関係学研究科准教授） 2
- ベトナム・カンボジア・ラオスの国立図書館は今  
—シンポジウム&ワークショップ「東南アジア地域研究情報  
資源の共有化をめざして」での報告を元にして—  
（その2 カンボジア・ラオス国立図書館）  
南 亮一 8
- レファレンス事例・ツール紹介 18  
中国の雑誌記事の探し方  
丹治 美玲 11
- アジア情報室の社会科学分野の資料紹介 25  
『国家電子文書管理知識及び政策幹部読本』  
『電子政府 50年：1967-2017：大韓民国の歴史上  
最も偉大な跳躍』 14
- アジア情報室の新着資料紹介（2020.1-2020.3） 16

## マレーシア語資料の出版状況について

塩崎 悠輝 (静岡県立大学国際関係学部国際関係学研究所准教授)

国立国会図書館関西館アジア情報室では、蔵書構築の参考とするため、定期的に外部有識者の意見を聴取している。令和2年1月8日、塩崎悠輝 静岡県立大学国際関係学部国際関係学研究所准教授をお招きし、マレーシアの出版事情についてお話しいただいた。本稿はその概要である。

(関西館アジア情報課)

\* 【】は当館請求記号。

## 1. 「マレーシア語」とは？

## (1) マレーシア独立以前のマレー語

「マレーシア語資料」というのは、非常に広範囲に及ぶ。どのように広いのか、そこから始めていきたい。

「マレーシア語 (Bahasa Malaysia)」という呼称は、1957年のマラヤ連邦独立後に公用語とされていたマレー語について、2007年の閣議決定により、新たにマレーシア政府により正式な呼称と定められたものである。それまでは「マレー語」「マレーシア語」と2つの呼称があり、今でも「マレー語」という人の方が多<sup>1</sup>。マレー語には様々な言語からの語彙流入があり、類似の言語は多数あるが、「マレー語」として確立したのは13～14世紀頃である。東南アジア島嶼部で、異なる言語間での意思伝達手段であるリンガ・フランカとして使用された。通商のために発達した混成語であるピジンとする説もあるが、よりオフィシャルで、学術・外交にも使用される。

マレー語は12～13世紀頃までは、3世紀後半～9世紀末にインド半島南東岸を支配していたパッラヴァ王朝の文字であるパッラヴァ文字で書かれていたが、イスラームが普及した14世紀からはアラビア文字を使用するのが

主流になった。マレー語をアラビア文字で表したものは、ジャウィと呼ばれる。

その後、イギリスがマレー半島を植民地化する中で、ラテンアルファベット表記(ルーミー)が広まり、20世紀半ばに定着した。

## (2) 公用語としてのマレー語

歴史的に存在してきたマレー語が、1957年にマラヤ連邦が独立した国家になることによって、その公用語となった。マレーシアが成立するのは1963年で、それまではマラヤ連邦の公用語としてのマレー語だった。

どこの国でも、国民国家成立以前は各地域によって違う言葉が話されていたが、国民国家として国民を作るには国語を制定する必要がある。マレーシアで標準語の作成を担ったのは、Dewan Bahasa dan Pustaka<sup>2</sup>という政府機関である。略してDBPと呼ばれ、言語図書館、言語図書協会等と訳される。正しいマレーシア語を決めるのはDBPである、と政府が定めており、マレーシア語の最も標準的な辞書の発行、学校の教科書作成、マレーシア語能力検定の実施等を行っている。

なお、マレー語はシンガポール、ブルネイでも公用語となっている。ブルネイではDBPが作成した教科書を使用する等、マレーシアとはほぼ同じ言葉を使っていると考えてよい。シンガポールでもほぼ同じ言葉だが、マレー語を使うのはマレー人以外にはあまりいない。またタイ南部のパターニーと呼ばれる地域ではマレー系住民が多く、マレー語とはほぼ同じ言語が使用されている。

インドネシアもマレーシアと言葉はほぼ同じとよく言われるが、これはやや誤解である。リンガ・フランカであったマレー語をベース

<sup>1</sup> 本稿では、2007年以前及び全年代について表す場合は「マレー語」、2007年以降のみを表す場合は「マレーシア語」

を用いる。

<sup>2</sup> <http://lamanweb.dbp.gov.my/>

として、両国で標準語化が別個に進んだ。2言語で会話しても専門用語などは通じない。

## 2. マレー語資料のカテゴリー

### (1) 媒体区分

#### ①非紙媒体：碑文、palm leaf

マレー語資料は、14世紀くらいから紙媒体が現れる。それ以前は石（特に墓石）か椰子の葉（palm leaf）に記録されていた。12世紀くらいから墓石にジャウィ表記で記載されたものが現れてくる。イスラームが広まっていったこともこの辺りから判断される。

#### ②紙媒体

マレー語の紙資料は14世紀くらいから出てくるが、14～16世紀の資料は、ほぼオランダかイギリスにある。イギリスの英国図書館（British Library）<sup>3</sup>、オランダのライデン大学（Universiteit Leiden）<sup>4</sup>、オランダ国立公文書館（Nationaal Archief, NA）<sup>5</sup>に保管されていることが多い。マレーシア国立公文書館（Arkib Negara Malaysia）<sup>6</sup>やインドネシア国立公文書館（Arsip Nasional Republik Indonesia, ANRI）<sup>7</sup>が所蔵しているのは18～20世紀のものである。

16世紀末にオランダが現在のジャカルタ近辺を拠点とし始め、紙資料を集めて本国に送った。それにより現在資料が残っているともいえる。

現存する資料に含まれるものには、詩やマレーシア語でhikayatという物語がある。hikayatには、アラブ近辺の物語がそのまま翻訳されているものもある。

そしてイスラームの法学や神学などの宗教書が非常に多い。また、外交文書も多数残っている。外交文書はリング・フランカであるマレー語で書かれている。イギリス・オランダからマラッカの国王に書簡を出す場合など

も同様である。

近年の傾向として、文化財の返還が大きな問題となっており、オランダなどは現在返還を進めている。

日本に関していうと、1941年から1945年にかけて、旧帝国図書館に運び込まれたマレー語資料が約4,000点ある。他にも現地の王宮などから運び出された資料があるようだが、海没等により旧帝国図書館に到達しなかったものも多数あると考えられている。記録がないため詳細は不明である。旧帝国図書館に運び込まれた資料については、1950年までに<sup>8</sup>、イギリスやオランダに返還されたが、目録が作成されなかったため、どのような資料が含まれていたかは明らかではない。

#### ③印刷資料

印刷技術自体は17世紀にマレーシアに伝わっている。オランダ人がバタヴィア（現在のジャカルタ）に印刷所を作り、プロテスタントの宣教師が布教のためにジャウィ表記のマレー語の聖書を印刷していた。マレー語や現地の社会や文化、イスラームのことを一番熱心に研究していたのは宣教師団である。

マレーシアの人々が自分たちで印刷を始めるのは19世紀後半からである。シンガポールやペナン、当時オスマン帝国領であったメッカなどで主にイスラームの宗教書を印刷した。1870年代のメッカには東南アジアの人々、特にイスラームの学者等が3万人くらいいたと言われている。

### (2) ジャンル

#### ①新聞

外部からの宣教師等ではなくマレーシアの人々自身が、宗教書や辞書以外で最初に印刷を始めたのは新聞である。

19世紀には、新聞発行を通じて世論形成を

<sup>3</sup> <https://www.bl.uk/>

<sup>4</sup> <https://www.universiteitleiden.nl/>

<sup>5</sup> <https://www.nationaalarchief.nl/>

<sup>6</sup> <http://www.arkib.gov.my/>

<sup>7</sup> <https://www.anri.go.id/>

<sup>8</sup> 梶谷純一「帝国図書館の略奪図書」（『情報学』6巻1号，2009）

<https://kiyo.info.gsc.osaka-cu.ac.jp/JI/article/view/83/74>

図ろうとする世界的潮流があったが、その中で1876年にシンガポールで出版されたJawi Peranakanがマレーシアの人々自身による最初の新聞となった。Peranakanというのは民族名もしくは社会集団名で、海峡植民地であるシンガポール、マラッカ、ペナンの現地化した華人のことを指すが、新聞は中国語ではなくマレー語で書かれている。

1900年代になると新聞の数も増えてきたが、マレー語の識字率が低いこと、流通網がなく全国紙にはならないこと等から、短期間で廃刊になることが多かった。マレー半島で最も歴史が長い新聞は、1896年創刊の英字紙であるMalay Mail（当館未所蔵）で、122年間続いて2018年に廃刊となった。1900年代に識字能力がある人というのは英語を読める人の方が多く、商業的には英字紙の方が成功しやすかった。マレー語新聞が商業的に成り立つようになったのは、識字率が上がった1940年代頃からである。

マレー語新聞として一番長く続いたのは1939年に創刊されたUtusan Melayu、後のUtusan Malaysia【Y735-SN-11】（日曜版の名称はMingguan Malaysia【Y735-SN-14】）だが、2019年10月に休刊となった。Utusan Malaysiaは、1957年のマラヤ連邦独立以来の与党であった政党である統一マレーシア国民組織（United Malays National Organization, UMNO）の機関紙であり、行政機関や企業、学校などに購入させていたが、UMNOが2018年3月に史上初めて野党となったためにそれが成り立たなくなってしまった。UMNOは巨大な企業体でもあり、その中にUtusan Malaysiaを所有するUtusan Groupも含まれる。Kosmo!（当館未所蔵）もUtusan Groupが刊行していた新聞だが、同じく休刊となっている。同じUMNO傘下のThe New Straits Times Press社刊行の新聞であるNew Straits Times【Z91-261】の方はまだ継続している。

連合与党の政党であったマレーシア華人協会（Malaysian Chinese Association, MCA）傘下にあるThe Star（当館未所蔵）は英字紙として現在最大手だが、これも売り上げが低迷している。

そもそも新聞というメディアがもう成り立ち難い。皆ニュースはネットで見ていて、わざわざ新聞を買うのは英語の勉強を兼ねた英字紙購買層くらいである。マレー語新聞のBerita Harian（当館未所蔵）も存続が危うい。

## ②公文書

基本的に公文書を保管しているのはクアラルンプールにあるマレーシア国立公文書館や、各州の公文書館である。複写可の資史料も、閲覧のみ可能な資史料もある。

## ③書籍

出版点数が少ない訳ではないが、日本でいう講談社や集英社のような巨大な出版社はなく小規模出版社が乱立している。強いて言えば政府機関であるDBPの規模が大きいくらいである。

マレーシア語の出版物では、イスラーム関係や娯楽書の出版点数が多い。マンガの出版点数はさほど多くなく、マンガであれば中国語のものの方がむしろ売れている。

学術書は大多数が約20の大学出版により刊行されている。大学は業績を見せたいので出版する動機があるが、それ以外のところではなかなか学術書は出版しないし、商業的に成り立つものでもない。イスラームの学問などはまた別だが、特に社会科学分野はほぼ大学出版によって担われている。

翻訳書は、政府機関である翻訳図書研究所（Institut Terjemahan & Buku Malaysia）<sup>9</sup>によって出版されている。外国の書籍をマレーシア語に翻訳するのが使命となっている研究所で、世界的な古典文学、有名ではあるが商業的には成り立たないようなものなどを翻訳

<sup>9</sup> <https://www.itbm.com.my/>



している。これはマレーシア語に翻訳する、ということ自体に意義があると言わざるを得ない。マレーシア語というのはこういうものも訳している、といわば証明するために行われている。そういう無理をしないと軽視されがちな言語とも言える。

#### ④ 雑誌

雑誌の出版物は多岐に渡るが、よく売れているのはやはりイスラーム関連のものである。ただ、イスラームとは言っても学術的なものよりは幽霊の話のような通俗的なものがよく売れており、中には70年以上続いた雑誌もある。その他には、娯楽関係、児童関係、ファッション誌、日本での『ゼクシィ』のような結婚情報誌などもよく売れている。

一方、マレーシア語の雑誌には『Times』や『Newsweek』、日本での『アエラ』や『文藝春秋』に相当するような政治経済に関する雑誌はほぼ存在しない。インドネシアにはかなり売れているものが3誌程あるが、マレーシアにはない。政治経済について情報を得ようとする人は英語誌を読む。そこがマレーシア語の難しいところである。

### 3. マレーシア語資料の過去20年間の変化

#### (1) 電子化の進展と紙媒体の凋落

過去20年間で電子化が非常に進展している。ニュースを見るにもMalaysiakini<sup>10</sup>等のニュースサイトがむしろ主流で世論への影響力も大きい。一方で新聞は急速に部数が減少している。もともと新聞はUtusan Malaysiaのように政府与党の機関紙が多く内容的にもあまり面白いものではなく、人気もない。

なお、マレーシアではSNSが非常に盛んで、Facebook、Instagram、そしてWhatsAppというチャットアプリなどに人気がある。Twitterはそれほど盛んではない。

#### (2) ペーパーレス化の推進

ペーパーレス化が相当進んでいる。大学でも、教科書や授業のコンテンツや試験問題、学生のレポート等すべて大学のウェブサイトにアップされており紙を使わない。また、学術誌のオープンアクセス化も進んでいる。

公的機関も同様に、マレーシア統計庁(Jabatan Perangkaan Malaysia)<sup>11</sup>等の統計資料や白書、国家予算をはじめ、公的機関の刊行物はほぼ電子化されており、インターネット上で入手可能である(有料の場合もある)。中央銀行(Bank Negara Malaysia)<sup>12</sup>や連邦政府首相府経済計画ユニット(Economic Planning Unit (EPU) of the Prime Minister's Department Malaysia)<sup>13</sup>という日本の旧経済企画庁のような機関の資料も、公開している資料はすべてダウンロード可能であるし、法律もすべてインターネット上で閲覧可能である。

#### (3) 古文書のデジタル化

マレー語の古文書は、英国図書館やオランダ、アメリカのいくつかの機関でかなりデジタル化が行われている。一方でマレーシア本国ではほぼ行われていない。

#### (4) 英語とのバランス

過去20年に限らず20世紀から起きているマレーシア語の宿命的な課題であるが、英語の力が非常に強く、マレーシア語は常におびやかされる存在となっている。

マレーシアの人々は英語を得意としており、それをアドバンテージに外国企業の誘致も盛んである。学生が欧米に留学する際にも有利に働く。

しかし政府はマレーシア語の普及推進を基本政策としている。外国の古典のマレーシア語への翻訳を行うほか、学術用語のマレーシア語への翻訳を進めてマレーシア語は学術用語としても使用できるという主張も行ってい

<sup>10</sup> <https://www.malaysiakini.com/>

<sup>11</sup> <https://www.dosm.gov.my/>

<sup>12</sup> <https://www.bnm.gov.my/>

<sup>13</sup> <https://www.epu.gov.my/ms>

る。また、テレビや映画のコンテンツの一定割合はマレーシア語とする、といったことも行っている。いわば政府からの押し付けである。しかしいくらテレビ局がマレーシア語のコンテンツを制作しても、人気があるのはアメリカのドラマやディズニーチャンネル等である。

また政府は、国民の務めとして、公教育において、華人、インド人、カダザン人、バジャウ人、ダヤック人等の非マレー人にもマレーシア語を必修にしている。

華人の一部はそれを嫌って中国語・英語だけで教育する独立学校を作っているが、それを高校卒業資格として認めるかは政治的問題にもなっている。マレーシアではマレー人が権力を握っており、軍や警察もマレー人が掌握している。国家元首はマレー人とするのが憲法でも決められている。そのような状況の中で、非マレー人にもマレーシア語を強制することがマレー人支配の正統性にもかかわる話となっている。

しかし、例えばイギリスのTimes社が発行しているThe Times Higher Education : THE [Z92-184]の大学ランキング等、世界的な大学ランキングでは英語での教育や研究発表が評価されるため、マレー人であってもできるだけ英語に切り替えることを主張する人もいる。特に自然科学分野においては用語をマレーシア語に翻訳することが難しいため、マレーシアの国際競争力のために、せめて数学や理科だけでも小学校から英語にしようという議論も行われている。

マレーシア語は、学術分野でも娯楽においても衰退が懸念されている。

#### 4. マレーシアと日本の外交課題

##### (1) 経済

##### ①東アジア地域包括的経済連携 (RCEP)

日本の国会でマレーシアに係ることが問題になることは多くないが、強いて言えば経済、

特に自由貿易協定が外交課題となっている。二国間の自由貿易協定である日本・マレーシア経済連携協定もあるが、アジア太平洋地域で、東アジア地域包括的経済連携 (Regional Comprehensive Economic Partnership, RCEP) という16か国が参加する自由貿易協定があり、その枠組みでの交渉も進められている。

##### ②日系企業

マレーシアには、約1,400社の日系企業が進出しており、約2万4千人の日本人が住んでいる<sup>14</sup>。マレーシアは治安もよく安全保障について問題になることはないが、日系企業の利益や在留邦人についてはまれに問題になることがある。

##### (2) 教育

日本とマレーシアは教育分野においてかなり深い関係がある。マレーシアのマハティール首相によるルックイースト政策の下で、マレーシアから日本への国費留学生が多数来ており、日本の文部科学省も現地で行う教科教育のための高等学校教諭の派遣、留学生選考試験実施等の協力を行っている。

2001年くらいから、日本の大学の分校をマレーシアに作ってほしいとの要求があり、筑波大学がクアラルンプールに分校を開設する予定となっている<sup>15</sup>。

##### (3) その他の国際協力、南南協力

マレーシアは、もはやODA (政府開発援助) 等の援助の対象となる国ではない。円借款により日本の会社を使って高速鉄道を造るといった案件は多数あるが、それはいわゆる国際協力ではなくビジネスの問題である。

マレーシアはむしろバングラデシュのロヒンギャ難民への援助等アジアの他の国々を援助する、いわゆる南南協力を行う国になっていて、日本がそういった国々への支援を行う

<sup>14</sup> [https://www.jetro.go.jp/world/asia/my/basic\\_01.html](https://www.jetro.go.jp/world/asia/my/basic_01.html)

<sup>15</sup> 筑波大、22年マレーシアに分校=日本初の海外本格進出

- 独自の教育文化発信へ (時事ドットコム)

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2019102700282&g=soc>

際のパートナーとなっている。PKO（国連平和維持活動）でも同じ地域で活動を行っていた。

## 5. マレーシア語資料の収集方法

### (1) 公的機関の刊行物

ペーパーレス化の推進についての話と重複するが、近年の公的機関の刊行物はほとんどはインターネット上でダウンロードが可能である。ただ古い年代の資料はインターネット上に遡及掲載される訳ではないので、現地に行き行って入手する必要があるだろう。

### (2) 国内書店からの購入

東南アジアの書籍を専門に扱っている日本の書店で有名なのは穂高書店<sup>16</sup>である。他に、紀伊國屋書店はクアラルンプールに支店<sup>17</sup>があり、マレーシア語資料購入のノウハウがあると思われる。

### (3) 国際交換

国立国会図書館が行っている各国の機関との国際交換<sup>18</sup>は、マレーシアに関しては持続的な交換は困難であると思われる。マレーシアの機関に予算がなく、そもそも送付することが想定されていないであろう。DBPも含めて、何かしらのコネクションがないと送付してもらうのは難しいのではないだろうか。

日本大使館には、官公庁の様々な資料が送られてきているが、それを業務として送付してもらうのは難しいのではないかとと思われる。

### (4) 寄贈

現在研究者の間で非常に問題となっているのが、退職の際に収集した資料をどうするかということである。科学研究費で購入した資料の所有権は大学等の所属研究機関にあるので所属研究機関が引き取るのが筋だが、多くの大学図書館等ではもう所蔵できなくなって

きている。管理できずに処分している機関もある。

今起きているのは、そういった資料を中国に引き取ってもらうことである。近年中国は地域研究に力を入れており、東南アジアの言語を教える学部、研究者、学生も非常に増えている。図書館も立派なものがあり、大口の寄贈も引き受けている。マレーシアの大学の場合は、引き取った後に長期的に保管されるか疑問が生じる部分があるが、中国では長期的に保管されそうである。

日本の大学では単純にスペースの問題もあるが図書館職員のマンパワーが足りていない。

国立国会図書館が寄贈を受けるのならありがたいという研究者も多いだろう。

## 6. 収集すべき資料

Utusan Malaysiaの休刊を受け、新たに新聞を収集する場合は、英字新聞であるThe Starは経済のことなども掲載されていてバランスがよく日本での需要も大きいのではないか。また、イスラームについての記事等を調べるのであればマレーシア語新聞Berita Harianがよいだろう。

マレーシアについては英語の情報源が豊富だが、人文科学分野の歴史学や文学、そして芸術などはマレー語資料は必要であろう。またイスラームのことはやはりマレーシア語資料でないと研究できない。社会科学分野の学術書も、研究者にとっては英語資料とマレーシア語資料の両方が必要となる。こういった資料が日本国内で所蔵されていると研究者の視点から有用である。

(しおざき ゆうき)

<sup>16</sup> <https://www.hotakabooks.com/>

<sup>17</sup> <https://www.kinokuniya.com.my/>

<sup>18</sup> <https://www.ndl.go.jp/jp/international/exchange/index.html>

ベトナム・カンボジア・ラオスの国立図書館は今  
—シンポジウム&ワークショップ「東南アジア地域研究情報資源の共有化をめざして」  
での報告を元にして— (その2 カンボジア・ラオス国立図書館)

南 亮一 (前・国立国会図書館関西館アジア情報課)

1 カンボジア国立図書館

1.1 概略

カンボジア国立図書館 (NLC) については、S&Wの1日目に同館資料保存室副室長のSok Sopal氏により発表された概況報告と同館ウェブサイト<sup>1</sup>の情報を元に、同館の概略を紹介する。



講演中のSopal氏

同館は、1924年12月24日、フランス保護領インドシナ政府により、プノンペン中央図書館として設立された。設立時の蔵書冊数は2,879冊であり、フランス語書籍が大半を占めていた。1951年に最初のクメール人館長であるPach Chhoeun氏が就任するまでは、フランス人職員によって運営されていた。また、1930年当時の同館の蔵書の8割はフランス語の書籍であり、ほとんどの著者はフランス人であった。このため同館の利用者はフランス人であった。このように、フランス植民地時代の同館は、在留するフランス人のための施設であったといえる。

ただ、カンボジア王国としてフランスから独立した後の1954年以降は、カンボジア人による出版活動が盛んになったことを反映し、クメール語図書の蔵書冊数が着実に増加していったという。



設立当初のプノンペン中央図書館 (Sopal氏の講演資料から)

ところが、1975年から1979年までのいわゆる「ポル・ポト政権」下には閉館を余儀なくされ、その間は、多くの蔵書を破壊した<sup>2</sup>同政権のメンバーの宿舎としてこの建物が使われていた<sup>3</sup>という。

同館が再び開館したのは、同政権が崩壊した翌年の1980年1月である。文化芸術省の傘下の機関として、専門能力を持つ職員<sup>4</sup>も、図書館資料を購入するための十分な予算もなかったが、現在では、資料保存への取組を中心に、フランスを中心とした外国政府からの様々な支援を受け、傷んだ資料の修復やその技術の習得を行いつつ、蔵書やサービスの再建に取り組んでいる。

現在の同館の概要は、次のとおりである。

<sup>1</sup> 同館は、独自のウェブサイトを構築しておらず、Facebook上にページを開設している。

<https://www.facebook.com/pg/NLC.gov.kh>

<sup>2</sup> 山口学「カンボジア国立図書館の再生へ向けて—コーネル大の援助プロジェクト」『カレントアウェアネス』(122), 1989.10.20, pp.3-4.によれば、「『宗教および帝国主義者が及ぼした害毒の抹殺』を掲げて、彼等の影響を受けたすべての記録を消滅しようとし」、このため数万部に上るクメール語の蔵書が焼却され、残ったのは数百部に過ぎなかったという。

<sup>3</sup> 宮島安世「カンボジアの図書館の現状」『カレントアウェアネス』(202), 1996.6.20, pp.3-4.によれば、建物は食料や料理用品を蓄える倉庫となり、庭は豚や鶏の飼育場にされ、本や目録カードは巻き散らされてしまったという。山口・前掲注2によれば、豚小屋として使用されたとのことである。

<sup>4</sup> 山口・前掲注2によれば、1975年当時在籍していた約60人の図書館員のほとんどがポル・ポト政権により殺害されたという。



- ・所蔵資料数：約125,000点
- ・貝葉文書：305点（マイクロフィルムでも閲覧可）
- ・所管省庁：文化芸術省
- ・定員：30人。うち21人が常勤職員
- ・部署：目録、保存及び法定納本の3つの部署がある。

## 1.2 NLC の来館サービス

これらの蔵書と人員により、NLCは各種の来館サービスを行っている。開館日・開館時間は、月曜日から土曜日までの午前8時から午後4時までであり、閲覧や複写のほか、貸出サービスも実施している。

閲覧サービスは学生、僧侶、図書館職員及び公務員にだけ認められており、利用者は1日当たり20人である。資料の複写は一部分に限り認められている。なお、貸出しを受けるためには、年8千リエル（約200円）<sup>5</sup>の登録料を支払って利用者登録を行い、貸出カードを発行してもらわなければならない。その上で、2冊を上限とし、2週間借りることができる。ただ、延滞した場合には延滞料を1日あたり500リエル（約13円）支払う必要があり、紛失した場合は代本を購入するか、定価相当額を支払わなければならない。

## 1.3 納本制度

カンボジアにおける納本制度は、著者又は出版者とその出版物を一定部数、所蔵庫（repository）に送付するというものであり、大抵は図書館に送付される。NLCの場合、通常は1タイトルにつき5部受領し、そのうち2部が閲覧用に、2部を貸出用に、1部が法定納本部門にそれぞれ送られる。

通常5部となっているのは、NLCがカンボジア国内のISBN登録機関となっており、5部の納入が、無料でISBNの発行を受けるため

の要件になっていることが大きいものと思われる。

またNLCは、新聞や雑誌、紀要については、その編集長（director）に対し、法定納本のほかに、NLCでの公衆へのサービスのため、5部から10部までの送付を求めている。

## 2 ラオス国立図書館

ラオス国立図書館（NLL）については、S&Wの1日目に、同館のKhanthamaly Yangnouvong館長により発表された概況報告、同館ウェブサイト<sup>6</sup>の情報及び2016年のIFLA大会のCDNLで発表された2015年のAnnual Report<sup>7</sup>（以下「2015報告」）をもとに、同館の概況を紹介する。



講演中のKhanthamaly氏

### 2.1 概略

NLLが正式に開館したのは、ラオスの完全独立後の1956年のことであり、現在の名称で活動を始めたのは、1997年のことである。

これまで、デューイ十進分類表（DDC）及び図書館システム導入（1965年）、ラオス伝統音楽・画像コレクションの電子化（1999年）、貝葉文書コレクションのデジタル化開始（2004年）、ラオスの手稿資料に関する電子図書館の開設（2009年）、そして、NLL法及び納本制度の施行（2012年）と、着実に進

<sup>5</sup> 学生は半額、外国人は年10ドル（約1,100円）と設定されている。

<sup>6</sup> <http://nationallibraryoflaos.net/>

<sup>7</sup> “Annual Report National Library of Laos 2015 For Conference of Directors of National Libraries in Asia

and Oceania Annual meeting of 2016 – at the National Library of New Zealand, Wellington, New Zealand”

ラオス国立図書館ウェブサイト

<http://nationallibraryoflaos.net/wp-content/uploads/2016/05/CDNLAO-Annual-Report-2015-Laos.pdf>

展してきた。

NLLは文化観光省出版活動部に所属し、職員は39人（そのうち図書館情報学の学位所持者7人）、うち女性は21人である。組織体系は、館長1人、副館長4人、6つの部門（目録、収集、古典籍、総務、図書館情報サービス、アウトリーチサービス）に4人から7人、となっている。

2015報告によれば、蔵書数は46,843冊、うち未整理図書が15,000冊、整理済図書のうちラオ語が3,532タイトル、タイ語が3,526タイトル、英語が831タイトル及びラオ語児童書3,466冊となっている。このほか、外国語児童書（未整理）4,756冊、貝葉文書1,600冊等も所蔵している。また、概況報告によれば、NLLは1973年から学術雑誌の収集を開始し、現在では、雑誌40タイトル、新聞19タイトルを所蔵しており、さらに利用者に過去の情報へのアクセス環境を提供するため、過去に刊行された雑誌の収集も行っている。

## 2.2 納本制度

ラオスにおける納本制度は、1929年1月3日に、フランスの納本制度がフランス領インドシナにまで適用されることとなり、ハノイにあったインドシナ中央図書館に納本されることになったのが始まりである。

現在の納本制度は、2012年に制定された図書館法の第17条において定められており、個人や法人、団体が書籍や雑誌、新聞等の印刷物を発行した際に、国立図書館の蔵書とするために、同館に3部を送付しなければならないこととされている。

## 2.3 書誌作成の状況

このように、ラオスの納本制度をもとに、ラオス国内の出版物がNLLに送られるようになってきていることもあり、NLLは1975年からラオ語で出版された図書の全国書誌の運営を行っており、インターネット上のデータベースで書誌データにアクセスできる。またNLLは、ラオス国内のISBN登録機関となってお

り、ISBNの付与と維持管理も担当している。

それに比べ、NLLにおける雑誌の書誌作成は、かつては著者名、タイトル及び版について、司書が冊子やカードに記録する方法が採られていた。2015年によろやくコンピュータ入力を開始したが、Microsoft Excelによる入力にとどまっているとのことである。

## 2.4 利用者サービス

NLLは、公休日を除く午前8時から午後4時まで開館しており、NLCとは異なり、公衆に開かれている。閲覧室には紙の資料のほか、端末が配置され、図書館ウェブポータル画面からデジタル化資料とオンライン情報源を閲覧できる。また、2016年には、館内でのWiFi接続サービスを開始した。

図書館の利用者登録は、1年おきに更新することとなっており、登録料は、ラオス人が3万ラオス・キップ（LAK。約360円）、外国人が5万LAK（約600円）である。登録の際にはパスポートサイズの写真1枚と本人確認書類が必要になる。登録すると、1回あたり2週間、3冊借りることができる。

このほか、車内に書架と閲覧スペースを設けたブックバスを小学校に走らせたり、本を詰めた箱や鞆を送るといった「ポータブル図書館」事業を実施している。

2015報告によれば、2014年の総来館者数が14,005人、貸出を受けた者の数が2,150人、貸出冊数が4,480冊、新規登録者数が129人、更新者数が61人となっている。

## おわりに

本稿が、これまで情報がほとんどなかったインドシナ三国の国立図書館についての理解を深め、日本における研究や利用の促進に資することになれば幸いである。

最後に、このような貴重な出張の機会を与えてくださったCSEASの大野美紀子先生に改めて御礼を申し上げる。

(みなみ りょういち)

## レファレンス事例・ツール紹介 18 中国の雑誌記事の探し方

丹治 美玲 (国立国会図書館関西館アジア情報課)

関西館アジア情報課でよく受けるレファレンスに、中国の雑誌記事を探している、というものがあります。本稿では、①「日本流传中国古籍之大概」という論文を読みたい、②1938年に発刊された『上海婦女』という雑誌の発刊詞（発刊のことば）を読みたい、という2つの事例をもとに、インターネット上で利用できるデータベースを中心とした、中国の雑誌記事の探し方をご紹介します。

\* ウェブサイトの最終アクセス日は2020年5月8日です。

## 1. 学術誌の雑誌記事を探す

## 1-1. 書誌情報を調べる

まずは掲載誌名や巻号等の書誌情報を確認します。中国の学術誌の書誌情報を探せるツールには、例えば次のものがあります。

## 中国知网 (CNKI)

<http://gb.oversea.cnki.net/Kns55/>

中国の総合的な学術情報データベースです。学術雑誌、新聞、年鑑、博士論文など様々なコンテンツを提供しており、定期刊行の学術雑誌は約11,000タイトルを収録しています。本文閲覧は有料です<sup>1</sup>が、無料で横断検索を行うことができます。昨年から新インターフェースへの移行の準備を進めており、2020年4月現在、新旧のインターフェースが併存しています。

新インターフェース (図1) の場合、検索画面の検索窓の左の項目が「主題 (主題)」に設定されていますので、必要に応じ「篇名 (記事名)」等に変更します<sup>2</sup>。

<sup>1</sup> 国立国会図書館はCNKIの雑誌のコンテンツの中では「中国学術雑誌全文データベース (CAJ)」を契約しており、来館すれば本文を閲覧できるほか、遠隔複写サービスを申し込むことも可能です。国立国会図書館リサーチ・ナビ>調べ方案内「CNKI 中国学術雑誌全文データベース (CAJ) の使い方」もご参照ください。  
[https://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/theme-asia-63.php](https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-asia-63.php)

図1 CNKI 新インターフェース



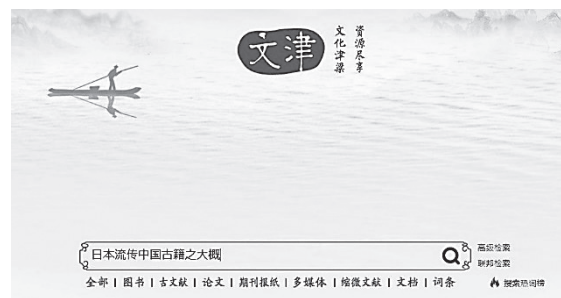
(出典) <http://new.gb.oversea.cnki.net/index/>

## 文津搜索

<http://find.nlc.cn/>

中国国家図書館が提供する統合検索システムです。同館の所蔵資料のほか、一部の契約データベースで閲覧可能な雑誌記事のデータも検索することができ、CNKIには収録されていない雑誌記事の書誌事項がわかることがあります。トップページ (図2) の検索窓に記事名を入れて検索するのが一番シンプルな検索方法です。

図2 文津搜索トップページ



(出典) <http://find.nlc.cn/>

事例①の記事名「日本流传中国古籍之大概」で検索してみると、CNKIでも文津搜索でも同じ記事がヒットし、探している記事の掲載

<sup>2</sup> 簡体字が入力できない場合は、繁体字版に切り替えて旧漢字で入力するか、日本漢字と共通する文字をキーワードに指定します。CNKIは、単語の途中で区切って検索するとヒットしないことがありますので、注意が必要です。以降、個別のデータベースの検索の注意事項は省略しますが、ヘルプを見たり、キーワード、文字の種類 (簡体字、繁体字)、文字の区切り等を少しずつ変えて何度か試してみることも大事です。



誌は『新世纪图书馆』、掲載号は2005年1期、著者は高橋智であることがわかります。

### 1-2. 本文が入手できないか調べる

掲載誌等の書誌事項がわかると、CiNii Books (<https://ci.nii.ac.jp/books/>) などを利用して、所蔵館を調べ、閲覧、貸出、複写の可否を確認することが可能になります。それ以外に、以下のように、無料で見られる雑誌データベース、出版者のウェブサイトなど、インターネットで本文が公開されていないかを探す方法があります。

## 国家哲学社会科学学术期刊数据库 (NSSD)

<http://www.nssd.org/>

中国社会科学院が提供するデータベースで、2020年4月現在、約2,000タイトルの雑誌を収録しています。無料で雑誌記事の検索および本文画像の閲覧が可能です。トップページ (図3) の検索窓からは、「論文 (記事名)」または「期刊 (雑誌名)」で検索を行います。

図3 NSSD トップページ



(出典) <http://www.nssd.org/>

事例①の記事名「日本流传中国古籍之大概」で検索すると、当該記事がヒットします。検索結果画面で「阅读全文 (本文閲覧)」を押下すると、ブラウザ上で本文を読むことができます。「全文下载 (本文ダウンロード)」を行うためには、無料の利用者登録が必要です<sup>3</sup>。

## 出版者のウェブサイトを調べる

学術誌の場合、編集者や出版者のウェブサ

<sup>3</sup> 利用方法については、以下もご参照ください。個人の利用者登録の方法も紹介しています。国立国会図書館リサーチ・ナビ>調べ方案内「国家哲学社会科学学术期刊数据库 (NSSD) の使い方」  
[https://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/theme-asia-149.php](https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-asia-149.php)

イトでオープンアクセスになっていることがあります。CNKIの検索結果画面で掲載誌名をクリックすると、ISSNや編者名など、掲載誌に関するより詳細な情報を得られますので、それらを元に検索エンジンで検索します。

事例①の場合、例えば、タイトル「新世纪图书馆」と編者「江苏省图书馆学会」をキーワードにしてGoogle検索すると、公式ウェブサイト<sup>4</sup>が一番目にヒットします。検索窓に雑誌記事名を入力して検索すると、結果が表示され、「下载 (ダウンロード)」から本文PDFをダウンロードできます。

## 2. 中華民国期の一般誌の雑誌記事を探す

### 2-1. 無料データベースで探す

1で紹介したCNKI、NSSDの収録対象は、基本的に学術誌に限られており、事例②のような一般誌は収録されていません。一方、中華民国期 (1912-1949年) の雑誌は、デジタル化されインターネット上で見られるようになっていることもあります。中華民国期の一般誌を含む次のデータベースで探してみます。

## 民国期刊

<http://mylib.nlc.cn/web/guest/minguoqikan>

中国国家図書館が提供するデータベースです。中華民国期の雑誌約4,300タイトルを収録しています。記事名では検索できません。また、本文を閲覧するためには、無料の利用者登録が必要です<sup>5</sup>。

図4 民国期刊トップページ



(出典) <http://mylib.nlc.cn/web/guest/minguoqikan>

<sup>4</sup> <http://newcentury.jslib.org.cn/>

<sup>5</sup> 登録方法は、国立国会図書館リサーチ・ナビ内の資料「中国国家数字図書館 (中国国家デジタル図書館) のユーザ登録手順」をご参照ください。  
[https://rnavi.ndl.go.jp/asia/tmp/NLCDL\\_register\\_201906.pdf](https://rnavi.ndl.go.jp/asia/tmp/NLCDL_register_201906.pdf)



## 抗日战争与近代中日关系文献数据平台

<http://www.modernhistory.org.cn/>

中国社会科学院近代史研究所、国家図書館、国家档案馆が主導した国家プロジェクトの成果物で、主に1930-1940年代に出版された資料を収録したデータベースです。雑誌は約3,000タイトルが収録されています<sup>6</sup>。一部の雑誌は記事名の検索が可能ですが、すべてではありませんので、検索時は掲載誌名から探するのが確実です。無料で本文閲覧が可能ですが、ダウンロードするためには、無料の利用者登録が必要です。

図5 抗日战争与近代中日关系文献数据平台  
トップページ



(出典) <http://www.modernhistory.org.cn/>

事例②の記事の掲載誌名の簡体字「上海妇女」で検索してみます。「民国期刊」トップページ(図4)の「题名(タイトル)」の検索窓に掲載誌名を入力して検索しても、1938年刊行のものは見つかりません。一方、「抗日战争与近代中日关系文献数据平台」トップページ(図5)から「期刊(雑誌)」を選択し、検索窓に「上海妇女」と入れて検索すると、1938年4月から1940年6月まで刊行された資料がヒットします。1巻1期(1938.4)を確認すると、冒頭に「發刊詞」が収録されていることがわかり、ブラウザ上で本文を読むことができます。

## 2-2. 補足：有料データベースで探す

事例②の場合は無料データベースで探して

<sup>6</sup> そのほかに、図書約43,000冊、新聞約1,000紙などが収録されています。

<sup>7</sup> 記事名がわかっている場合、文書レファレンスで当館にお問い合わせいただければ、お探しの記事が収録されているかを調査いたします。なお、2020年4月現在、遠隔複写サービスの対象にはなっていません。

<sup>8</sup> 東方書店>電子商品>大成老旧期刊全文数据库>収録書目  
<https://www.toho-shoten.co.jp/export/sites/default/er07/>

いた記事が見つかりましたが、見つからない場合は、CiNii Books等を利用して、掲載誌の所蔵館を調べ、閲覧、貸出、複写の可否を確認する方法が一般的です。それ以外に、当館館内では、次の有料データベースで探すこともできます。

## 大成老旧期刊全文数据库

晩清から中華民国期にかけて中国で刊行された雑誌約6,800タイトルの本文画像を収録しています。当館にご来館いただければ、検索、本文閲覧およびプリントアウトが可能です<sup>7</sup>。記事名、掲載誌名、著者名から検索することができます。また、このデータベースの収録誌リストを、日本の代理店である東方書店が公開しています<sup>8</sup>。掲載誌名がわかっている場合は、その雑誌が収録されているかを確認することが可能です。

## まとめ

今回の調査のポイントは次のとおりです。

- ・まずは正確な書誌情報を把握する
- ・無料で本文閲覧が可能なオンラインデータベースや出版者のウェブサイト等も活用する
- ・CiNii Books等ではヒットしない有料データベースの存在にも留意する

国立国会図書館リサーチ・ナビ「アジア諸国の情報をさがす」では、中国以外のアジア各国、地域の雑誌記事等の検索に役立つデータベースなどもご紹介しています<sup>9</sup>。アジア各国の雑誌記事の検索にお困りの際は、ぜひご覧ください。

(たんじ みれい)

<list/dacheng.xls>

<sup>9</sup> 国立国会図書館リサーチ・ナビ>AsiaLinks>雑誌記事・論文

<https://rnavi.ndl.go.jp/asia/asialinks/links-theme/article/index.php>

国立国会図書館リサーチ・ナビ>アジア情報の調べ方案内>学術一般

<https://rnavi.ndl.go.jp/asia/entry/research-guide-asia.php#u>

## アジア情報室の社会科学分野の資料紹介 25

アジア情報室では、国会サービス（国会議員に対する各種調査報告の作成、資料・情報等の提供）に資する目的で、社会科学分野の資料を重視して収集している。具体的には、アジア各国・地域における立法や政策動向等を知るために必要な政府刊行物や研究書等である。

これらのうち、中国語圏と朝鮮語圏の国・地域の最近の動向を知るうえで有益と思われる資料を中心に、キーワード、著者情報、出版の背景・目的、本書のポイント、目次等を紹介する。現代アジア各国・地域の政治、法律、経済、社会等について調査研究を行う方々にも、是非ご活用頂きたい。

(凡例) 文献番号(通番) 編著者名 『書名(日本語訳)』 出版地: 出版者, 出版年, ページ数  
【当館請求記号】

## 1. 中国語

1.34. 《国家电子文件管理知识与政策干部读本》编委会 编著『国家电子文件管理知识与政策干部读本(国家電子文書管理知識及び政策幹部読本)』人民出版社, 2019.1. 3, 4, 256p 【AC9-311-C331】

【キーワード】

中国、電子政府、文書管理

【編集者・著者】

本書の編集委員会は、国家電子文書管理部局間連絡会議弁公室の人員から構成されている。同会議は、中国共産党中央弁公庁、國務院、国家發展改革委員会などから構成されており、国家暗号管理局に設置されている。同会議及び、本書の編集委員会の主任を務める李兆宗は、現国家暗号管理局局長<sup>1</sup>でもある。

【出版の背景・目的】

中国では、2009年に「電子文書管理暫定弁法」<sup>2</sup>が制定され、国の機関及び企業等による電子文書管理を進めてきた。本書は、電子文書の管理について、各地域、各部門、党校などの組織での研修や、共産党・政府幹部及び広く公務員の学習に資することを目的に刊行されたものである。

【本書のポイント】

本書は、「第一部分 電子文書に関する基礎知識」「第二部分 国家の電子文書管理業務」「第三部分 電子文書管理の応用と実践」

の3部分から構成される。第一、第二部分で原則を説明し、第三部分で電子証明書、電子カルテ、学生の学籍管理、企業における電子文書管理など、各分野での実践例を紹介している。巻末には「電子文書管理暫定弁法」の全文及び関連する国家規格一覧が掲載されており、一冊で中国の電子文書管理について概観するのに有用な資料といえる。

【目次】

第一部分 電子文書に関する基礎知識  
第一章 電子文書を知る  
第二章 電子文書管理  
第二部分 国家の電子文書管理業務  
第三章 電子文書管理の現状と課題  
第四章 電子文書管理の法規体系  
第五章 電子文書管理の標準規範  
第六章 新時代の国家の電子文書管理の主要任務  
第三部分 電子文書管理の応用と実践  
第七章 各機関における電子文書管理業務  
第八章 電子文書管理の応用と代表例  
付録  
電子文書管理頻出名詞  
電子文書管理暫定弁法  
電子文書関連国家規格目録

参考文献

後記

(アジア情報課 水流添 真紀)

<sup>1</sup> 国家电子文件管理部际联席会议组织架构(国家电子文件管理(国家暗号局サイト内))  
[http://www.oscca.gov.cn/sca/ztpd/2016-11/25/content\\_1002500.shtml](http://www.oscca.gov.cn/sca/ztpd/2016-11/25/content_1002500.shtml)

国家電子文書管理部局間連絡会議弁公室主任は、国家暗

号局局長が兼任する。

<sup>2</sup> 「电子文件管理暂行办法」(北大法宝)

<https://www.pkulaw.com/chl/a1f37535661b2e35bdfb.html>  
条文は冒頭のみ掲載されている。

## 2. 朝鮮語

2.23. 행정안전부 (行政安全部) [編] 『전자정부 50년 : 1967-2017 : 대한민국 역사상 가장 위대한 도약 (電子政府 50年 : 1967-2017 : 大韓民國の歴史上最も偉大な跳躍)』 ソウル : 행정안전부 (行政安全部), 2017.9, 293p. 【AK4-311-K280】

### 【キーワード】

電子政府、電子行政

### 【著者情報】

行政安全部は、電子政府の運営のほか、法令及び条約の公布、政府組織と定員、地方自治制度などに関する事務を所管する、韓国の行政機関である。

### 【出版の背景・目的】

韓国は、国連の電子政府ランキングで2010年から2014年まで3回連続1位を獲得し、2018年は3位に入るなど、世界の中でも行政の電子化が進んだ国の一つである<sup>3</sup>。本書は、韓国の行政機関に最初にコンピュータが導入された1967年から、2017年までの50年の成果を共有することを目的として出版された。

なお、当該資料は、通史とテーマ史の2冊で構成されているが、当館の所蔵は通史のみである。行政安全部ウェブサイトにて、通史とテーマ史のほか、写真集も公開されている<sup>4</sup>。

### 【本書のポイント】

韓国政府の業務電子化の黎明期から、国家基幹電算網の構築（第1章第4節）、電子政府法の制定（第2章第1節2）、インターネット民願<sup>5</sup>サービスの提供（第2章第4節）など、現代の電子政府に至るまでの過程が詳細に紹介されている。第3章第2節では、ビッグデータ基盤の構築やモバイル電子政府サービスな

ど、新しい技術を活用したサービスを紹介するほか、2016年から2020年までの5か年計画である「電子政府2020基本計画」を解説する。韓国の電子政府の構築過程と現在、今後の計画を通覧できる資料である。

### 【目次】

- 第1章 電子政府の地盤を固める
  - 第1節 行政電子化の種をまく
  - 第2節 基礎行政業務の電子化を実行する
  - 第3節 行政の電子化領域を拡大する
  - 第4節 全国をつなぐ基幹電算網が構築される
  - 第5節 情報化のための連結が始まる
  - 第6節 多様なG2G<sup>6</sup>サービスを実施する
  - 第7節 インターネット時代に備える
- 第2章 先進的な電子政府を実現する
  - 第1節 電子政府時代を開く
  - 第2節 電子政府の基本インフラを構築する
  - 第3節 住民向けサービスの基盤を固める
  - 第4節 サービスの革新を図る
  - 第5節 電子政府サービスを拡大する
  - 第6節 時間と空間の限界を越える
  - 第7節 電子政府のパラダイムが変化する
- 第3章 世界一流の知能型政府を志向する
  - 第1節 グローバル行政韓流を先導する
  - 第2節 次世代技術を電子政府に組み込む

### 付録

年表

(アジア情報課 廣田 美和)

<sup>3</sup> “United Nations E-Government Survey 2018” UN iLibrary website

[https://www.un-ilibrary.org/democracy-and-governance/united-nations-e-government-survey-2018\\_d54b9179-en](https://www.un-ilibrary.org/democracy-and-governance/united-nations-e-government-survey-2018_d54b9179-en)  
国連のランキングは2年に1度更新される。日本は2014年の6位が最高で、2018年は10位であった。

<sup>4</sup> 「대한민국 전자정부 50년사 (2017년)」 行政安全部ウェブサイト

<https://www.mois.go.kr/frt/bbs/type001/commonSelectBoa>

[rdArticle.do;jsessionid=am+gT1hx2js3A57ODhON4NYF.node40?bbsId=BBSMSTR\\_00000000012&nttId=73253](https://www.mois.go.kr/frt/bbs/type001/commonSelectBoa?rdArticle.do;jsessionid=am+gT1hx2js3A57ODhON4NYF.node40?bbsId=BBSMSTR_00000000012&nttId=73253)

<sup>5</sup> 住民が行政機関に対して、各種の手続きや申請、証明書の発行などの行政行為を求めること。

<sup>6</sup> Government to Governmentの略で政府機関間の協力・連携のこと。本節では、住民登録業務や旅券発行業務など、12種類の業務の電子化及び機関間の情報連携の過程が紹介されている。



## アジア情報室の新着資料紹介 (2020.1～2020.3)

アジア情報室で新たに利用可能となった開架資料を紹介する (2020年1月から3月まで)。

記述は、書名、著者名、出版事項、形態、注記、請求記号の順で、必要と思われる資料には、解題を付した。また、適宜、邦訳タイトルを補記した。

地域ごとに、『国立国会図書館分類表』の概要によって分類し、各主題の中は、請求記号順に排列した。なお、中国、コリア以外のアジア諸地域については、地域・国 (各地域内の国は五十音順) ごとに排列し、その中を、言語別 (諸言語、日本語、欧米言語)、請求記号順に排列した。

## 1. 中国 (香港、マカオを含む)、台湾

## 中国語の部

<政治・法律・行政>

**民法辞典** / 吕淑琴 编著. -- 上海 : 上海辞書出版社, 2018.12. -- 19, 500p ; 19cm  
索引あり。

ISBN: 9787532650873 **A112-C168**

民法法分野の専門用語約1,400語を収録。「総論」「自然人」「法人」など分野別に12部に大別して排列。巻末に付録として筆画順の索引を付す。

**中国法院信息化发展报告 = Annual report on informatization of Chinese courts. No.3 (2019)** / 陈甦, 田禾 主编. -- 北京 : 社会科学文献出版社, 2019.2. -- 1, 4, 392p ; 24cm. -- (法治蓝皮书 = Blue book of rule of law)

ISBN: 9787520142816 **AC9-773-C27**

2018年の中国の裁判所における情報技術の運用状況をまとめた報告書。「全体報告」「評価報告」など7部からなり、「スマート法院」、電子訴訟プラットフォーム、裁判実務における情報技術の試行運用などに関する24の報告を収録。巻末に付録として「2018年の中国裁判所情報化大事記」を付す。

<経済・産業>

**中国海洋经济发展报告 : 2015-2018 = Annual report on the development of China's marine economy : 2015-2018** / 殷克东, 高金田, 方胜民 编著. -- 北京 : 社会科学文献出版社, 2018.3. -- 2, 3, 2, 2, 383p ; 24cm. -- (海洋经济蓝皮书 = Blue book of marine economy ; No.1)

ISBN: 9787520120913 **DC963-C20**

2015-2018年の中国の海洋経済の発展状況をまとめた報告書。「全体報告」「テーマ報告」など4部からなり、16の報告を収録。巻末に付録として「中国海洋経済発展大事記」を付す。

**中国金融科技发展报告 = Annual report on China's fintech development. 2018** / 李扬, 孙国峰 主编. -- 北京 : 社会科学文献出版社, 2018.10. -- 2, 3, 2, 383p ; 24cm. -- (金融科技蓝皮书 = Blue book of fintech ; 6)

ISBN: 9787520136402 **DF231-C5**  
インターネット金融に対する管理政策、ビッグデータやブロックチェーン技術の応用例など、2017年の中国におけるフィンテックの発展状況を分析した報告書。「リスク管理編」「産業別応用編」「場面別応用編」など5部からなり、17の報告を収録する。

**中国企业社会责任研究报告 = Research report on**

**corporate social responsibility of China. 2018 (责任十年再出发)** / 黄群慧, 钟宏武, 张蕙 著. -- 北京 : 社会科学文献出版社, 2018.11. -- 7, 5, 4, 1, 4, 6, 319p ; 24cm. -- (企业社会责任蓝皮书 = Blue book of corporate social responsibility ; No.10)

ISBN: 9787520138437 **DH1-C24**

中国のトップ企業100社、資本別 (国有、民営、外資) トップ企業100社及び主要な業界につき、中国社会科学院が構築した評価システムにより算出した、2009年 (シリーズ開始年) から2018年までのCSR評価指数とその分析を収録した報告書。「全体報告」「個別報告」など4部からなり、7つの報告を収録する。巻末に「中国トップ企業300社の2009-2018年のCSR評価指数」など8つの付録を付す。

**中国未成年人互联网运用报告 : 2019 = Annual report on the internet use of Chinese : 2019** / 季为民, 沈杰 主编. -- 北京 : 社会科学文献出版社, 2019.6. -- 3, 3, 405p ; 24cm. -- (青少年蓝皮书 = Blue book of teenagers ; 5)

ISBN: 9787520148139 **DK411-C139**

2018年時点の、中国のインターネットに関する法規制の現状分析、未成年者を取り巻くインターネット環境の現状、関連データの分析などをまとめた報告書。「保護規制と政策法规」「インターネットリテラシーとインターネット文化」など4部からなり、19の報告を収録する。

**2017-2018年中国互联网产业发展蓝皮书 = The blue book on the development of internet industry in China 2017-2018** / 中国电子信息产业发展研究院 编著 ; 王鹏 主编. -- 北京 : 人民出版社, 2018.9. -- 5, 7, 191p ; 24cm. -- (2017-2018年中国工业和信息化发展系列蓝皮书)

ISBN: 9787010197418 **DK411-C140**

2017年における、主に中国のインターネット産業の現況を分析した報告書。「業界編」「企業編」「政策編」など6編からなる。

**2015年全国1%人口抽样调查资料** / 国家统计局人口和就业统计司 编. -- 北京 : 中国统计出版社, 2016.11. -- 8, 641p ; 31cm + CD-ROM 1枚 (12cm)

ISBN: 9787503780059 ; 9787894686404 (CD-ROM)  
**DT231-C9-C101**

中国全土の人口のうち、1%を抽出して実施した統計調査の報告書。「概要」「年齢」「教育程度」など12項目からなる。巻末に「2015年全国1%人口サンプル調査方法」「2015年全国1%人口サンプル調査表」など5つの付録を付す。

**中国农村贫困监测报告 = Poverty monitoring report of rural China. 2018** / 国家统计局住户调查办公室 编.



-- 北京：中国統計出版社，2018.12. -- 399p；31cm  
ISBN: 9787503787386 **DT591-C9**  
中国の農村の貧困状況について、統計及びその分析等をまとめた報告書。「部門編」「地区編」「典型例及び調査研究編」など5編からなる。

<社会・労働>

**中国居民收支与生活状况报告 = Report on China's household income and expenditure survey. 2018 /** 国家统计局住户调查办公室 编. -- 北京：中国統計出版社，2018.12. -- 3, 335p；31cm

ISBN: 9787503787683 **EF15-C24**  
中国の全土及び各省ごとの世帯収支及び生活状況調査の結果報告書。「世帯収入の水準及び変化の状況」「世帯消費支出の状況」など7章からなる。巻末に「2013-2017年の全国世帯収支及び生活状況主要データ」など5つの付録を付す。

**中国医院竞争力报告 = Annual report on China's hospital competitiveness. 2018-2019 (国家医院地理俯瞰) /** 庄一强 主编. -- 北京：社会科学文献出版社，2019.3. -- 2, 1, 2, 4, 502p；24cm. -- (医院蓝皮书 = Blue book of hospitals；4)

ISBN: 9787520143134 **EG231-C16**  
中国の病院の状況についての報告書。「全体報告」「地域別医療」など5部からなり、病院競争力ランキングや地域別・病院の種類別の現状分析など26の報告を収録する。巻末に「中国上場医療サービス企業及びCSRランキング指標」など5つの付録を付す。

**中国环境管理发展报告 = Annual report on development of environmental management in China. 2018 /** 李金惠 主编. -- 北京：社会科学文献出版社，2018.12. -- 1, 3, 281p；24cm. -- (环境管理蓝皮书 = Blue book of environmental management；2)

ISBN: 9787509791400 **EG295-C189**  
中国の環境保護に関する政策や取組についてまとめた報告書。「汚染管理編」「リサイクル編」など6部からなり、23の報告を収録する。巻末に付録として「中国環境マネジメント大事記（2017.1～2017.12）」を付す。

<歴史・地理>

**中国知青图书要目：1950-2018 /** 陆亚平，朱盛镛 编著. -- [上海]：中国文化出版社，2019.5. -- 5, 2, 4, 1, 272p；21cm. -- (上海知识青年历史文化研究会知识青年历史文化丛书)

ISBN: 9789888619474 **GE2-C342**  
「知識青年（1950年代から文化大革命が終わるまでの間に、上山下郷運動などによって都市から農村に移り住んだ青年たち）」に関する図書2,681タイトルについて、書名、著者名、出版社及びジャンルを収録。排列は出版年順。巻末に「知識青年を主題とした修士・博士論文タイトルリスト」など5つの付録を付す。

<芸術・言語・文学>

**清末民初翻译小说目录：1840-1919 = Catalogue of translated novels of late Qing dynasty and early republic of China /** 陆国飞 编著. -- 上海：上海交通大学出版社，2018.8. -- 8, 2, 458p；25cm

文献あり。索引あり。

ISBN: 9787313198129 **KK61-C122**  
1840年から1919年までに中国で刊行された翻訳小説約2,900作品について、原作者、翻訳者、収録書名、出版者、出版年月などを収録。「政治小説」「科学小説」などジャンル別に27に大別し、書名のピンイン順に排列。巻末にピンイン順の書名索引を付す。

<科学技術>

**国家科普能力发展报告 = Report on development of the national science popularization capacity in China. 2017-2018 /** 王康友 主编. -- 北京：社会科学文献出版社，2018.7. -- 2, 1, 2, 534p；24cm. -- (科普蓝皮书 = Blue book of science popularization；No.2)

ISBN: 9787520128377 **M55-C7**  
中国における科学普及事業についての報告書。「全体報告」「テーマ編」「事例編」の3部からなり、科学普及事業に係る人員や施設の現状や、インターネットによる情報発信などに関する11の報告を収録する。

日本語の部

<歴史・地理>

**旧台湾総督府関係資料目録 = Bibliography of materials related to the Taiwan Government General: 米国議会図書館所蔵 /** 田甫桂三，本多泰洋 編著. -- 鳴門：八木印刷所，1996.4. -- 230p；30cm

**GE2-M1**

## 2. コリア (韓国、北朝鮮)

朝鮮語の部

<政治・法律・行政>

**쉽게 풀어쓴 의회용어 /** 의사국 편집. -- 서울：국회사무처，2018.7. -- 576p；21cm

(易しく解説した国会用語) **A112-K74**  
韓国の国会活動全般において使用される用語約560語について、解説、関連語、関連条文等を収録。排列はハングル字母順。

**2018 최신 북한법령 용어풀이 /** 장명봉 편저. -- 개정판. -- 서울：평화문제연구소，2018.4. -- xiv, 335, 7p；24cm 索引あり。

ISBN: 9788975141690 **A112-K75**

(2018最新北韓法令の用語解釈)  
韓国で発行された北朝鮮の法令用語解説集。約780語について、解説及び用例を収録。排列は最初に憲法、以降は『2018最新北韓法令集』【CK3-3-K11】収録の法令名のハングル字母順で大別し、さらに用語のハングル字母順に排列。巻末に用語名のハングル字母順索引を付す。

**2016년 제20대 국회의원선거 선거방송 심의백서 /** 방송통신심의위원회[編]. -- 서울：방송통신심의위원회，2016.6. -- iv, 322p；30cm

(2016年第20代国会議員選挙選挙放送審議白書) **AK4-251-K104**

韓国で2016年5月に実施された国会議員選挙の選挙報道について審議するため、政党、中央選挙管理

委員会、放送局、放送関連団体等が推薦する者10名から構成された「第20代国会議員選挙 選挙放送審議委員会」の活動記録を収録。付録として、主な決定・通報内容、選挙放送審議関連法規などを付す。

**법제처 70년사: 1948~2018 / 법제처 기획재정담당관실 [編]. -- 세종: 법제처 기획재정담당관실, 2018.12. -- 840p; 26cm**  
(法制処70年史: 1948~2018) **AK4-311-K304**  
韓国の国務會議に上程される法律案、条約案及び総理令案、部令案を審査する行政機関である法制処の活動記録を収録。「法制機構の沿革」「組織の変遷」「主要法制業務」など5章からなる。巻末に、主要日誌、主要統計などを付す。

**2018 년 공무원총조사 보고서 / 행정안전부 인사실 인사정책과 [編]. -- [서울]: 인사혁신처, 2019.2. -- 847p; 27cm**  
(2018年公務員総調査報告書) **AK4-311-K306**  
韓国で1969年から5年ごとに実施されている公務員総調査について、2018年8月1日に在職中の国家及び地方公務員約100万人を対象に実施された調査の結果を収録。「調査概要」「図表で見た主要統計」「統計表」の3編からなる。

**2018 전자정부서비스 이용실태조사 결과보고서 / 행정안전부, 한국정보화진흥원 [編]. -- 세종: 행정안전부; 대구: 한국정보화진흥원, 2018.12. -- 485p; 26cm**  
(2018電子政府サービス利用実態調査結果報告書) **AK4-311-K307**  
韓国で2007年から毎年実施されている電子政府サービス利用実態調査について、満16歳から74歳までの4000名を対象に実施された調査の結果を収録。データは2018年10月末現在。「調査結果要約」「調査結果分析」など4章からなり、「第4章 付録」にデータを収録する。

<経済・産業>  
**2018 소프트웨어산업 연간보고서 = 2018 White paper of Korea software industry / 소프트웨어정책연구소 [編]. -- 성남: 소프트웨어정책연구소, [2019]. -- 333p; 26cm**

ISBN: 9788961084482  
(2018ソフトウェア産業年間報告書) **DK411-K55**  
韓国のソフトウェア産業及び同政策に関する報告書。「ソフトウェア産業の現況」「ソフトウェア市場の現況」など5部からなる。第5部に「ソフトウェア主要企業リスト」など3つの付録を収録。

<社会・労働>  
**2018 의료급여 주요통계 / 국민건강보험공단 [編]. -- 원주: 국민건강보험공단, 2019.6. -- 85p; 23cm**  
ISBN: 9788961084482  
(2018医療給与主要統計) **EG131-K11**  
韓国の医療扶助制度に関する統計集。「医療給与受給権者及び主要診療現況」「医療保障一般現況」など3編からなる。

<歴史・地理>  
**한국의식주생활사전: 식생활 = Encyclopedia of Korean culture of basic necessities: food. 1 (ㄱㄴㄷㄹㅁ) / 국립민속박물관 [編]. -- 서울: 국립민속박물관, 2018.12.**

-- 511p; 28cm 索引あり.  
ISBN: 9788928902095; 9788928902088 (set)  
(韓国衣食住生活事典: 食生活. 1) **GE8-K50**

**한국의식주생활사전: 식생활 = Encyclopedia of Korean culture of basic necessities: food. 2 (ㄴㅇㅈㅊㅋㄷㅌㅍㅎ) / 국립민속박물관 [編]. -- 서울: 국립민속박물관, 2018.12. -- 540-1063p; 28cm 索引あり.**  
ISBN: 9788928902101; 9788928902088 (set)  
(韓国衣食住生活事典: 食生活. 2) **GE8-K51**  
飲食、食材、道具、用語、資料に関する895項目について、定義、内容、特徴などを収録。2冊からなる。排列はハングル字母順。各巻末に索引を付す。

**일제 강점기 조선인 강제동원 연표 / 정혜경 저. -- 서울: 선인, 2018.11. -- 187p; 23cm. -- (강제동원 & 평화총서; 12)**  
ISBN: 9791160682311  
(日帝強占期朝鮮人強制動員年表) **GE9-K22**  
戦前期の日本の朝鮮人動員に関連する主な出来事について、太平洋戦争開戦前及び終戦後の動きを含めて年表形式で収録。収録期間は1854年から2015年まで。

<芸術・言語・文学>  
**조선말사전: 최신규범: 민족문자출판특별보조프로젝트: 2016년 <조선말규범집>에 따른 최신판 우리말 중형사전: 학습, 실무, 일상 언어생활의 길잡이 / 중국조선어학회 편. -- 沈阳: 료녕민족출판사, 2017.11. -- 2, 6, 1, 1854p; 22cm**  
ISBN: 9787549717354  
(朝鮮語辞典: 最新規範: 民族文字出版物特別補助プロジェクト: 2016年<朝鮮語規範集>による最新版朝鮮語中型辞典: 学習、実務、日常言語生活の手引) **KJ42-K279**

<科学技術>  
**2018년도 융합연구연감 = Convergence research annual 2018 / 융합연구정책센터 [編]. -- 서울: 융합연구정책센터, 2019.6. -- 324p; 26cm**  
(2018年度融合研究年鑑) **M45-K55**  
韓国の異分野融合研究に関する年次報告書。「融合研究政策」「融合メガトレンド」など4章からなる。巻末に「第3次融合研究開発活性化基本計画(案)」など5つの付録を付す。

**日本語の部**

<芸術・言語・文学>  
**한국映画100選 = The 100 Best Korean Movies / 한국映像資料院 編; 桑畑優香 訳. -- 東京: クオン, 2019.12. -- 259p; 29cm 索引あり.**  
ISBN: 978-4-904855-93-5 **KD671-M14**

**3. アジア諸地域 (中国、コリア以外)**

**東南アジア**

<インドネシア>  
**Kamus baso Minangkabau: Minangkabau-Indonesia / Yos Magek Bapuyuang. -- Cetakan pertama. -- Jakarta: Mutiara Sumber Ilmu, 2015**

-- xiv, 474 pages ; 25 cm ; -- Includes bibliographical references (pages 472-474). -- Entries in Minangkabau, with definitions in Indonesian.

**Y739-TS-6**

(ミナンカバウ語-インドネシア語辞典)

ミナンカバウ語は、スマトラ島中央部で使用されている。

**Kamus Bahasa Uud Danum-Bahasa Indonesia /** Dedy Ari Asfar. -- Cetakan pertama. -- Pontianak : Lembaga Pengkajian dan Studi Arus Informasi Regional (LPS AIR), 2015 -- xxxii, 121 pages ; 21 cm. ISBN: 9786021848357

**Y739-TS-7**

(ウッドダヌム語-インドネシア語辞典 語義と品詞)

ウッドダヌム語は、ボルネオ島中部・西部で使用されている。

**Kamus ungkapan bahasa Minangkabau /** Diana, Fitriani Dewi, Arriyanti. -- [Padang] : Badan Pengembangan dan Pembinaan, Balai Bahasa Provinsi Sumatera Barat, 2015 -- xvi, 363 pages ; 21 cm ; -- Includes bibliographical references (pages 361-363). -- Definitions in Indonesian, with entries in Minangkabau.

ISBN: 9789790692251

**Y739-TS-9**

(ミナンカバウ語-インドネシア語辞典 品詞、熟語)

**Kamus bahasa Indonesia-Kulawi /** Deni Karsana, Tamrin, Wahidah. -- Edisi pertama, cetakan pertama. -- Makassar : Penerbit De Lamacca, 2012 -- xviii, 224 pages ; 21 cm ; -- Includes bibliographical references (pages 223-224). -- Entries in Indonesian with definitions in Kulawi.

ISBN: 9786022630012

**Y739-TS-10**

(インドネシア語-クラウイ語辞典)

クラウイ語は、中部スラウェシ州で使用されている。

**Kamus bahasa Melayu Nusantara.** -- Edisi kedua. -- Berakas, Negara Brunei Darussalam : Dewan Bahasa dan Pustaka Brunei, Kementerian Kebudayaan, Belia dan Sukan, 2011 -- liv, 3082 pages ; 24 cm ; -- Includes bibliographical references (pages 3066-3079).

ISBN: 9991702482

**Y735-TS-4238**

(マレー語-インドネシア語辞典)

<マレーシア>

**100 wira negara /** [Abdul Aziz Rahman]. -- Cet. 1. -- Kuala Lumpur : Majlis Bekas Wakil Rakyat Malaysia, 2012. -- 301 pages ; 27 cm : illustrations (some color) ; -- Includes bibliographical references (pages 296-301).

ISBN: 97896711054116 ; 97896711054109

**Y735-TS-4328**

(100人の国民的英雄)

政治、経済、芸術、スポーツなど、さまざまな分野で活躍したマレーシアの100人の「国民的英雄」の伝記集。生没年や功績、写真等を掲載している。

**100 akhbar Melayu /** Hamed Mohd Adnan. -- Cetakan pertama -- Kuala Lumpur : Institut Terjemahan &

Buku Malaysia, 2015 -- 273 pages : illustrations ; 23 cm ; -- Includes bibliographical references (pages 255-257) and index.

ISBN: 9789670798615

**Y735-TS-4332**

(最初のマレー語紙100紙)

マレーシアのマレー語新聞の中から100紙を対象に、創刊年順にそれぞれの簡略な解説がされている。巻末に五十音順の項目索引を付す。

**Kamus seni bina /** Cetakan pertama. -- Kuala Lumpur : Dewan Bahasa dan pustaka, 2016 -- xv, 164 pages : illustrations (chiefly color) ; 27cm ; -- Includes bibliographical references (pages 163-164). -- Definitions in Malay with entries in Malay and English.

ISBN: 9789834903985

**Y735-TS-4343**

(マレー語・英語建築用語辞典)

<ラオス>

ວັດຈະນານຸກົມພາສາລາວ -- ພິມັອຽງທັນງິ້. -- [ວັດງຈັນ] : ສະຖາບັນວິທະຍາສາດສັງຄົມແຫ່ງຊາດ, 2012 -- 17, 1002, a-g pages ; 25 cm ; -- Includes bibliographical references (p. a-b).

**Y743-TS-45**

(ラオ語辞典)

西アジア

<西アジア全般>

**Rêzimana Kurdi /** written & compiled by Vakkas Çolak, Abdurrahman Gülbeyaz ; translated by Takenori Murakami = クルド語文法 : クルマンジー方言 / ワッカス・チョーラク, アブドゥルラッハマン・ギェルベヤズ著 ; 村上武則編訳. -- Çapa yekem -- İstanbul : Nûbihar, 2019. -- 216 pages ; 24 cm.

ISBN: 9786059413473

**Y772-TS-3**

クルド語クルマンジー方言の文法書。巻末に「語彙集」および「クルド語の動詞一覧」を付す。「語彙集」はクルマンジー方言の見出し語3,200余語について、日本語および英語の語義を対照し、類義語を収録。

<イラン>

فهرست کتابهای چاپ سنگی تبریز : فارسی-عربی / هادی هاشمیان  
تبریز : انتشارات ستوده

1386 [2007 or 2008] -- 323 pages : facsimiles ; -- Includes bibliographical references (p. [321]-323) and indexes. ; 25 cm -- In Persian and Arabic.

ISBN: 9789647644973 ; 9789647644976

**Y771-TS-43**

(タブリーズの石版本の目録 (ペルシア語、アラビア語))

فهرست کتابهای چاپ سنگی و سری : فارسی-عربی-ترکی : کتابخانه تربیت  
— تبریز / هادی هاشمیان

تبریز : انتشارات ستوده

1386 [2007 or 2008] -- 798 pages : facsimiles ; -- Includes bibliographical references. -- In Persian, Arabic and Turkish.

ISBN: 9789647644965 ; 9789647644969

**Y771-TS-44**

(石版本と活版印刷本の目録 (ペルシア語、アラビ



ア語、トルコ語) : タブリーズ教育図書館)

آمار نشر کتاب در ایران (۱۳۹۱-۱۳۹۳) / زیر نظر، مجید غلامی  
جلیشه : تألیف، مجتبی تبریزنیا، اسماعیل افقهی  
= **Statics of book publishing in Iran (1979-2014)**  
/ supervised by Majid Gholami Jaliseh ; authors  
Mojtaba Tabriznia, Ismail Afqahi.

تهران : خانه کتاب

1394 [2015] -- 183 pages :charts ; 20 x 22 cm.  
ISBN: 9786002223104 **Y771-TS-45**

سرعنوانهای موضوعی فارسی / زیر نظر پوری سلطانی، کامران فانی ;  
با همکاری مهناز رهبری اصل

= **List of Persian subject headings** / edited by Poori  
Soltani, Kamran Fani ; assistant editor Mahnaz  
Rahbari Asl.

ویراست سوم -- تهران : کتابخانه ملی جمهوری اسلامی ایران  
جلد سوم. نمایه انگلیسی به فارسی ; -- 3volumes ; --  
1381 [2002] -- Volume 3. English-Persian index  
plus errata.

ISBN: 9644460707 (set) **Y771-TS-46**

کتابشناسی اساطیر و ادیان / فرخنده حاجی زاده. -- چاپ اول  
تهران : نشر آگرا

1380 [2001 or 2002] -- volumes ; 24 cm ; -- Includes  
bibliographical references and indexes.

ISBN: 9789649325903 **Y771-TS-49**  
(神話・宗教関係書誌)

اطلس شهری استانی ایران / طرح، تهیه، کارتوگرافی رایانه‌ای و چاپ از  
مؤسسه جغرافیایی و کارتوگرافی گیتاشناسی ; تهیه و تدوین واحد پژوهش  
و تألیف گیتاشناسی ; زیر نظر سعید بختیاری

= **City & provincial atlas of Iran** / Gitashenasi  
Geographical & Cartographic Institute.

تهران : مؤسسه جغرافیایی و کارتوگرافی گیتاشناسی  
1393 [2014 or 2015] -- 1 atlas (143 pages) ; 35 cm  
ISBN: 9789643424428 **Y771-TS-51**

اطلس همراه تهران : ویرایش جدید / تهیه، لیتوگرافی و چاپ از مؤسسه  
جغرافیایی و

کارتوگرافی گیتاشناسی  
= **Companion atlas of Tehran** / Gitashenasi  
Geographical & Cartographic Institute.

چاپ چهارم، با آخرین تغییرات  
تهران : مؤسسه جغرافیایی و کارتوگرافی گیتاشناسی  
1395 [2016 or 2017] -- 1 atlas (224 pages) ; 21 cm  
ISBN: 9789643423421 **Y771-TS-52**

اطلس گردشگری و زیارتی مشهد مقدس / طرح، تهیه، کارتوگرافی  
رایانه‌ای و چاپ مؤسسه جغرافیایی و کارتوگرافی گیتاشناسی. -- چاپ دوم  
تهران : مؤسسه جغرافیایی و کارتوگرافی گیتاشناسی

1382 [2003] -- 1 atlas (161, 31 pages) :color illustrations,  
color maps ; 21 cm ; -- -- Includes indexes. -- Persian.  
Title, publication information, indexes, text, and  
some place names also in English.

ISBN: 9643421260 **Y771-TS-53**  
(聖なるマシユハドの観光・巡礼地図帳)

اطلس شهرشناسی تهران ۱۳۹۱  
= **Tehran urbanology atlas 2013** /  
مؤسسه جغرافیایی و کارتوگرافی گیتاشناسی

تهران : مؤسسه جغرافیایی و کارتوگرافی گیتاشناسی

1392 [2013] -- 1 atlas (472 pages) :color illustrations,  
color maps; 21 cm ; -- Relief shown by spot heights.  
-- Includes indexes. -- Persian, title also in English.  
ISBN: 9789643424268 **Y771-TS-54**

تذکره اندرونی : شرح احوال و شعر شاعران زن در عصر قاجار تا پهلوی  
اول / بنفشه حجازی. -- چاپ اول

تهران : انتشارات قصیده سرا

1382 [2003 or 2004] -- 335 pages; 22 cm ; -- Includes  
bibliographical references (pages [333]-335).

ISBN: 9647675763 **Y771-TS-63**  
(中庭の覚書 : カージャール朝からパフラヴィ  
ー1世期の女性詩人の伝記と詩)

「第1章 イランの詩人」「第2章 ペルシア語の  
詩人」の2章からなる。18世紀末から20世紀半ばまで  
に活躍したイランの女性詩人90名およびペルシア語で  
創作した女性詩人34名について、生没年、略歴、作品  
からの引用等を収録。第1章は人名順に排列、第2章  
はインド、アフガニスタン、タジキスタンなど7の地  
域で細分し、その中を人名順に排列。

اطلس جادهای ایران / تهیه و کارتوگرافی از، واحد کارتوگرافی انتشارات  
ایرانشناسی ; زیر نظر امیر حسین بختیاری. -- چاپ پنجم

تهران : ایرانشناسی

1388 [2009 or 2010] -- 1 atlas (175 pages) :color  
illustrations, color maps ; 21 cm -- Includes index.

ISBN: 9789649663968 **Y771-TS-107**  
(イラン道路地図)

### 『アジア情報室通報』正誤表

『アジア情報室通報』第18巻第1号(2020年3月刊行)掲載記事において、以下のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

- ・4ページの左段下から3行目
- 【誤】上の写真の右の標示が開架用、左の表示が書庫用のものである。
- 【正】上の写真の左の標示が開架用、右の標示が書庫用のものである。

### アジア情報室通報 (季刊)

第18巻第2号 2020年6月

編集 国立国会図書館関西館アジア情報課  
〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3  
電話 0774-98-1390 FAX 0774-94-9115  
https://rnavi.ndl.go.jp/asia/entry/asia-pub.php  
発行 国立国会図書館  
〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1  
印刷 共同精版印刷株式会社

